

校報 潑 刺 ~はっらっ~

聡明な人間 豊かな人間 たくましい人間

【願う学校像】高い志と興文愛をもち、何事にもひたむきに取り組む興文中

◇夢や目標をもつ

◇達成の方法を工夫する

◇仲間と共に高まる

◇あきらめず何度も挑戦する

大垣市立興文中学校

校長 清水 昭治

生徒数 358名

大垣市西崎町1-82

〒78-3068

平成31年2月1日発行

<http://www.ogakicity.ed.jp/kouchu/index.html>

■「興文中学校の誇り」や「興文中学校の伝統」を引き継ぐ

校長 清水 昭治

今年も「伝統を引き継ぐ取組」が始まりました。卒業を控えた3年生の日常の合唱や授業、掃除について、1・2年生が「交流する」や「見学する」「協働する」ことを通して「興文中学校の誇り」「興文中学校の伝統」について学んでいます。1月23日の全校集会では、2年生の代表生徒が「目に見える先輩の姿だけでなく、その姿の背景にある願いや思い、心も学びたい」と呼びかけていましたが、まさに、そこに本校の誇りや伝統とは何かを探るヒントがあるように思います。見たり協働したりしてもわからないことは、「3年生と語る場」で、1・2年生は、3年生の思いや願いがわかるまで質問し、3年生は3年間の成長や行動の価値を確かめつつ、1・2年生に熱く語ってほしいと思います。

クラスで協力して合唱練習に取り組むことや仲間として共に授業を創り上げること、膝をついて黙々と床を磨くこと、仲間と励まし合って部活動に取り組むことなどの意義や価値を考えて、日常化できるようになれば、それが「興文中学校の誇り」「興文中学校の伝統」を引き継いだということになるのだと思います。2年連続の「科学の甲子園ジュニアでの全国大会出場」、「女子ハンドボール部の県大会優勝」は、日常の授業や部活動にひたむきに取り組んだ結果の象徴であると思います。

一人一人がこの取組を学びと育ちの主人公として受け止め、1年で最も寒い2月を有意義に過ごし、卒業と進学、進級の準備を着実に進めていくことを期待しています。

◇今月の生徒の「思い」

1年 宮崎 結衣 さん 『私の「生き方」』

私は「目標に向かって努力すること」を大切にしています。こんなことができるようになりたい、これをやってみたい、という思いをもつことが、努力するための力になると考え、思いや願いをもつことを大切にしてきました。

しかし、1Aの仲間と過ごすうちに、もう一つ大事にしたいと思うようになったことがあります。それは「誰かのために…」という気持ちです。

例えば、合唱では「いつも良いアドバイスをして一人一人に関わってくれる文化班の仲間のために…」という思いで歌うことで、声量も目線も変わってきました。教科係の仕事もそうだと思います。「クラスみんなのために…」という思いで何度も呼び掛けてくれる教科係。「頑張る教科係のために…」と、その思いに一生懸命応える仲間。「誰かのために…」は自分や全体が変わる原動力になります。

このような思いは、合唱や教科係の仕事に限らず、掃除、机列の整頓などでも、生まれてくるものだと思います。「誰かのために…」という思いを大切に、これからも生活していきます。そして「誰かのために…」と私にそう思わせてくれた1Aのみんな。自分にとって大切な存在ができるということは幸せなことです。そんな仲間感謝しています。



2年 谷森 柚那 さん 『0学期という言葉の意味』

「3学期は〇年生の〇学期」という言葉はこれまでも何度も聞きますが、今回、伝統を引き継ぐ活動が始まり、その意味について考えるようになりました。

私は、後期文化班長です。興文中学校の伝統である「合唱」について話し合った時、「全員で作り上げる質の高い合唱こそが伝統である」という意見が出ました。しかし、明確な目標のあった興文祭の時期とは違い、今はB組の全員が本気で合唱をしているとは言えません。私を含め、学級の

中に甘えた気持ちがあるのだと思いました。「このままではいけない」と強く感じた私は、パート練習や学級全体の練習を変えていこうと思いました。音楽の授業で学習したポイントなどを積極的に伝えました。それにより、再びみんなが課題意識をもって練習に参加できるようになりました。先日の合唱交流では、先輩方の合唱を間近で聞いて、自分たちはまだまだだと感じました。私自身が合唱にこだわりをもって、更に仲間にかかわっていきたいです。



また、班長の役割以外では部活動を通して考えたこともあります。私の所属するハンドボール部は、目標であった県大会優勝、そして全国大会出場を決めることができました。苦しい時もありましたが、それに負けず努力してきてよかったと思います。このような結果を出すことができたのは、自分に厳しく頑張ると心に決めて、仲間と全力を尽くしたからです。

「3年生の0学期」である今、大切にすべきことは、「自分に厳しくあること」だと思います。自分の弱さと向き合い、自分から行動を起こすことで、より良いものが作り出せるのです。先輩方から伝統を引き継ぎ、「興文の顔」である3年生に向けてしっかりと準備をしていきたいです。

3年 西尾 翔太 さん 『卒業に向けて』

義務教育9年間で初めて班長に立候補しました。僕は人前で話すことが苦手です。朝と帰りのCTで“班長”として一日のめあてと振り返りを話すことは予想通り難しく、思いがあっても学級で上手く伝えることができません。だから、僕は伝えたいことを前日や昼休みにメモして、それを見ながら話すことにしました。メモを見ながら話すことは、班長として相応しい姿とは思えません。でも、それ以上に自分の伝えたいことをしっかり伝える方が大切だと思い、そうしました。



ある日の帰りのCTで、僕はメモを準備する時間がありませんでした。内心「どうしよう」と思いましたが、何も書かれていないメモだけを持ちながら、何とか思っていたことを伝えることがで

2月の行事予定

日	曜	主な行事
1	金	進路懇談(3年)
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	中学校一日入学 リフレッシュデー
7	木	教育相談
8	金	教育相談
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	教育相談
13	水	CD録音(3年) 学校評議員の会 教育相談 リフレッシュデー
14	木	学年末テスト(1,2年) 3年生と語る会
15	金	委員会・教科係会
16	土	土曜授業(命を守る訓練)
17	日	
18	月	
19	火	生徒総会
20	水	学習評価の日 リフレッシュデー
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	リフレッシュデー
28	木	研究会(15時下校)

きました。その日、学級委員の話で西脇さんが「今日、西尾さんが手に持っていたメモには実は何も書かれてなかったんですよ!」と話してくれました。悩んでいた僕を見てくれたこと、そして少しだけでも成長した自分を認めてくれた気がして嬉しかったです。どれだけ言葉に詰まって、上手に話せなくても、いつも静かに聴いてくれ、何とか理解しようとしてくれる3Cのみんなには本当に助けられています。僕という人間を理解してくれて、温かく接してくれます。僕は今まで優しい仲間と支えあってきました。新しい進路先では、新しい環境と仲間と生活しないといけません。こうやって優しく支えてくれる仲間が常にいるとは限りません。どんな環境になっても、自分の力で飛躍できるように、残された興文中学校での生活を大切にしていきます。

3月の主な予定

- 4日 同窓会入会式
- 5日 卒業証書授与式
- 7日~8日 公立高校一次選抜
- 8日 生徒会選挙
- 14日 公立高校一次選抜結果
- 26日 修了式・離任式
- 27日 合唱部定期演奏会